



Japan WG 教育サブグループ(教育SG) 新教育教材について

2023年7月11日

Agenda

1. 新教育教材の紹介
 - 1.1 活動概要
 - 1.2 OSS教育資料作成の提案
 - 1.3 作成プロセス
 - 1.4 ライセンス基礎の概要
 - 1.5 ライセンス応用(仮称)の概要
2. 今後の活動テーマの検討
3. 最後に

1. 新教育教材の紹介

1.1 活動概要

a. メンバ

オリンパス、ソニー、富士通、NEC、東芝、パナソニック、サイバートラスト、日立

b. 活動状況

オンライン会合(1回/月)での検討、作業
(2021/5～)

c. アウトプット

(1)OSS教育教材の公開

(サプライチェーンリスクマネジメント・バージョン)

- ・ライセンス基礎
- ・ライセンス応用(仮称)

(2)OSS教育の各社課題/事例の情報共有

1.2 OSS教育資料作成の提案

■ 教育SGの現状

OpenChainは、OSSのコンプライアンスプログラムを組織が構築するための指針を整備しているプロジェクトである。

ソフトウェアのサプライチェーンの中で活動する人々が各組織内に確立すべきコンプライアンスプログラムの要件をOpenChain仕様として定義し、各組織がそれらを確立するための支援している。

教育SGでは、それぞれの企業において、OpenChain仕様に準じた教育コンテンツを作成する場合の一助として、OSS教育資料(コンプライアンスプログラム・バージョン)を公開している（2020/5）。

- ・ 日本語、マークダウン版

https://github.com/OpenChain-Project/OpenChain-JWG/tree/master/Education_Material/Training/chapters

- ・ 日本語、パワーポイント版

https://github.com/OpenChain-Project/OpenChain-JWG/blob/master/Education_Material/Training/Training-OSS-compl-process-jp-42.pptx

1.2 OSS教育資料作成の提案

■教育SGにおける課題

- 既公開のOSS教育資料(コンプライアンスプログラム・バージョン)は、OpenChainに準じた形で、コンプライアンス関連(ポリシー、プロセス)に特化している。

⇒【拡充が必要では？】

例えば、各社の教育資料にするには、“OSSとは”、“OSSの必要性”、“EOL ”、“脆弱性”、“知的財産(第三者特許の無保証、自社特許の無償実施許諾)”等の項目が必要！

※Planning-SGからも、“EOL ”、“脆弱性”他追加の要望あり。

1.2 OSS教育資料作成の提案

■ OSS教育コンテンツに関する各社現状と課題

- 新規にコンテンツを作成する場合、多大な工数がかかる。
- サプライチェーンには、大企業、中小企業、SIビジネス企業、製品製造ビジネス企業などバラエティに富んでおり、OSSの利活用レベル/教育レベルも様々。

1.2 OSS教育資料作成の提案

■ 方針

前記課題解決に向け、教育コンテンツをオープンなコミュニティで開発する。各社連携して開発することで、コミュニティの力を活かし、ビジネスにリアルに役立つ教育コンテンツが提供できる。

- コミュニティの中で各社の賛同を得て、各社の教育コンテンツのうちオープンにできる箇所を持ち寄り、コンテンツ開発を行う。

1.2 OSS教育資料作成の提案

■ 合意のもと、どのような教育コンテンツを作るか？を議論。

下記候補について検討し、(b)が共通の必要性や多くの賛同が得られたので、(b)について目次、概要の纏めをスタート！

(a) コミュニィ活動向け教育資料

(b) ソフトウェア開発委託先向け教育資料

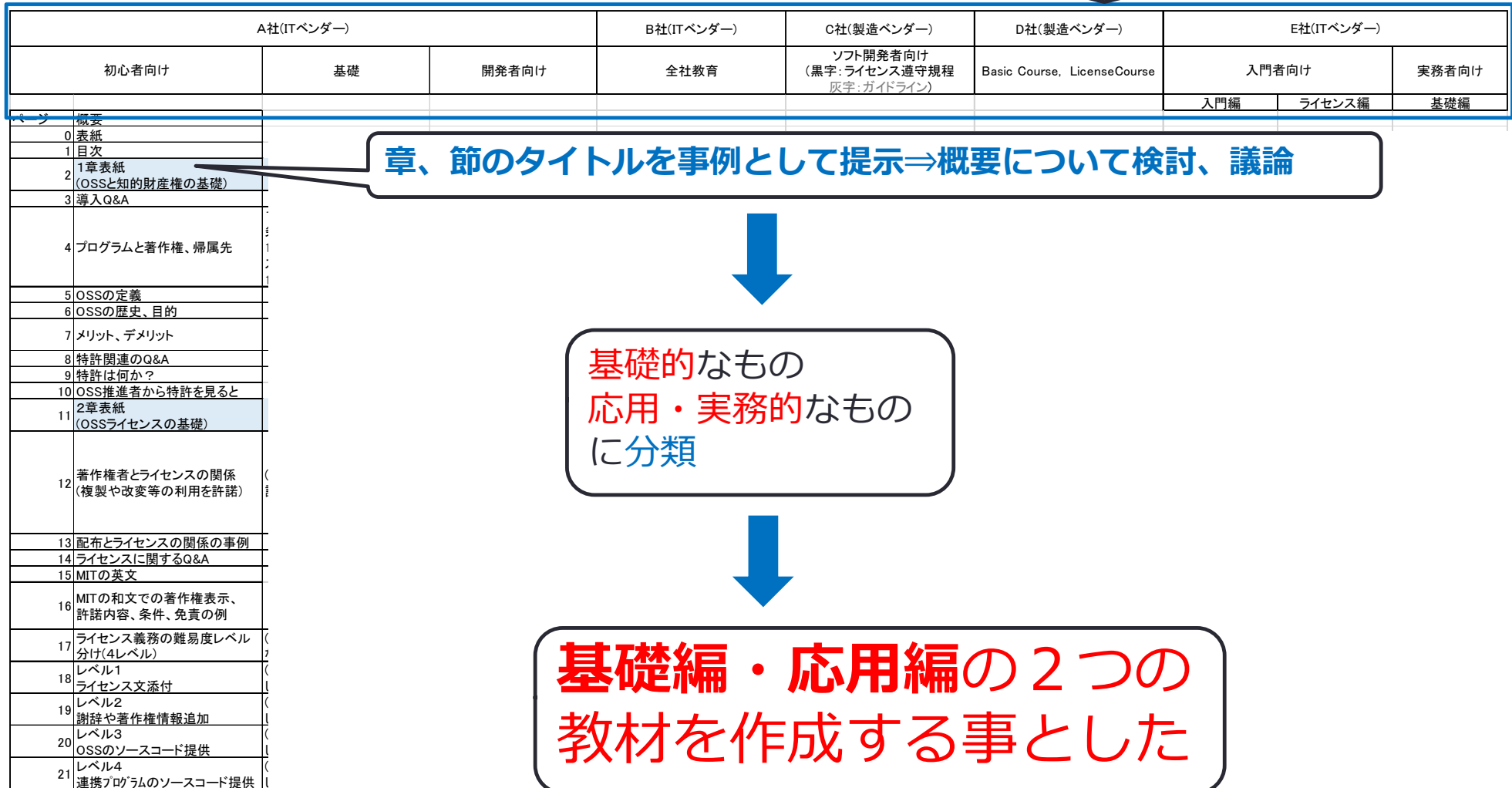
※開発委託先の教育に社外秘の教育資料を使えない

(c) インナーソース向け教育資料

OpenChainのカリキュラムやリーフレットを参考に、メンバーの意見を取り入れて目次、概要を纏めた。

1.3 作成プロセス

各社の教育



1.4 ライセンス基礎の概要



OSS教育資料 (サプライチェーンリスクマネジメント・バージョン)

ライセンス基礎の紹介

pptxファイル版をOpenChain Japan WG のGitHubで公開中

[OpenChain-JWG/Education_Material/Training_at_master](https://github.com/OpenChain-JWG/Education_Material/Training_at_master) ・ [OpenChain-Project/OpenChain-JWG](https://github.com/OpenChain-Project/OpenChain-JWG) ・ [GitHub](#)

1.4 ライセンス基礎の概要

章立

1. OSSと知的財産権の基礎
2. OSSライセンスの基礎
3. ライセンス違反の事例
4. OSS採用時の検討事項
5. 受発注時のライセンス情報の提供

1.4 ライセンス基礎の概要

皆さんからのご指摘、ご意見等、大歓迎です、
どうぞ、ご活用ください。

活用している各社のコメント

- A社：ライセンス基礎を社内教育に活用。コメントのフィードバック中。
英語版を作成。別途レビュー予定。
- B社：合併会社の教育用に紹介。
- C社：開発委託先向けの教育に活用中。

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要



OSS教育資料
(サプライチェーンリスクマネジメント・バージョン)

ライセンス応用（仮称）の紹介

現在、教育SGで作成・レビュー中

OpenChain Japan WG のGitHubで公開予定 Coming Soon!

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要



章立

1. OSSライセンスの調査
2. ライセンス義務の履行
3. SBOM
4. OSSのセキュリティリスクへの対応

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要

1. OSSライセンスの調査

- 1.1 導入Q&A
- 1.2 ライセンスの調査
- 1.3 ライブラリ等のライセンスも確認
- 1.4 ライセンスの記載例
- 1.5 複数のライセンスが記載されているケース
- 1.6 Web掲載のライセンスで誤認(バージョン)
- 1.7 OSS、ライセンスのリスト化

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要

2. ライセンス義務の履行

2.1 導入Q&A

2.2 ライセンス遵守作業の概要

2.3 ソースコード提供

2.4 提供するソースコードの準備

2.5 提供方法の選択

2.6 提供の実施

2.7 リバースエンジニアリングの許可

2.8 必須文言（著作権表示他）を製品のドキュメントに掲載する

2.9 製品のドキュメントにライセンス条文を掲載する

2.10 謝辞を掲載する

2.11 謝辞を広告媒体に掲載する

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要

3. SBOM

- 3.1 ソフトウェアの構成を知る
- 3.2 SBOMを取得する方法
- 3.3 SBOMで扱う管理項目
- 3.4 SBOMのフォーマット
- 3.5 SBOMを管理するためのベストプラクティス
- 3.6 ケーススタディ、事例
- 3.7 発展的な話題

1.5 ライセンス応用(仮称)の概要

4. OSSのセキュリティリスクへの対応

4.1 はじめに

4.2 OSSのセキュリティリスクの種類

4.3 OSSのセキュリティリスクを発見する方法

4.4 OSSのセキュリティリスク対応

4.5 OSSのセキュリティリスク対策・予防

4.6 OSSのセキュリティリスクを管理するためのベストプラクティス

4.7 動向、レポート、ケーススタディ

4.8 OSSセキュリティに役立てられるリソース（オンラインコミュニティ、トレーニングなど）

4.9 ソースソフトウェアのセキュリティに関連する実践的なヒント、Tips、法律、慣例など

4.10 その他

2. 今後の活動テーマの検討

2. 今後の活動テーマの検討

各社のOSS教育の課題・対応の事例を検討する事により、今後の教育SGの活動テーマの検討に繋げていく予定。

各社教育の課題・対応の検討観点	
教育資料のカスタマイズ	・そもそもカスタマイズする？しない？、どう考える？ (するべきか？しないべきか？)
	・内容のカスタマイズどうする？どうしてる？ ベースが作ってあって、聴講者向けにカスタマイズする？
教育資料の内容	・ライセンスに絞るべき？ 脆弱性や他の内容についてどう触れている？
	・OSSにまつわることをトータルで教えて欲しい、と言われるケースへの対応はどうしている？ (結構困る)
教育の分量	・長い、短い、どうしている？ ・例：アンケート結果では、長いと「長い」、短いと「内容が薄い」となってしまう。
教育資料の管理	・教育資料、どこが(だれが)管理する？ (資料管理の問題でもあるが・・・) ・中心で管理する？、事業部に任せる？ (事業部に任せした場合水準をどう合わせるか？)
教育資料の更新	・内容のアップデート、誰が？どれくらいの頻度で？行うのか。
教育資料の紹介	・各社の教育資料をJapanWGで紹介出来るか？
教育資料の英語化	・英語化はどうしているか？

事例
纏め

↓

今回の会合
後半で議論

3. 最後に

3. 最後に

教育SGは、
Slack OpenChain JapanWG 10_education-sgの案内を
しています。
ふるってご参加下さい。(1回／月の会合予定)

最後に、教育SGのリーダー変更のお知らせです。
日立：岩田 ⇒ **オリンパス：小泉さん**に交代します。
引き続き宜しくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。